

倒れている人を見つけたら(成人用)

1 反応を確認する



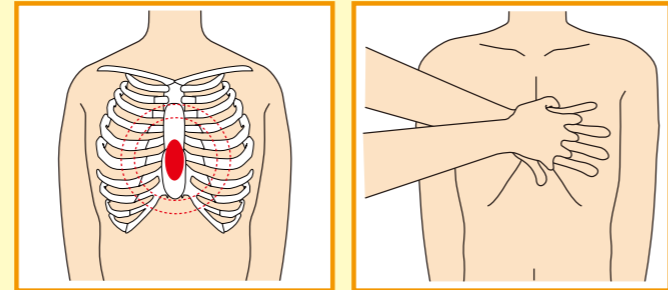
2 助けを呼ぶ



3 呼吸の確認



4 胸骨圧迫(心臓マッサージ)



- ・胸の真ん中を「強く・速く・絶え間なく」圧迫する。
- ・傷病者の胸が約5cm沈み込むまで。
- ・1分間に100~120回のテンポで。
- ・圧迫を緩めるときは、胸をしっかり戻す。

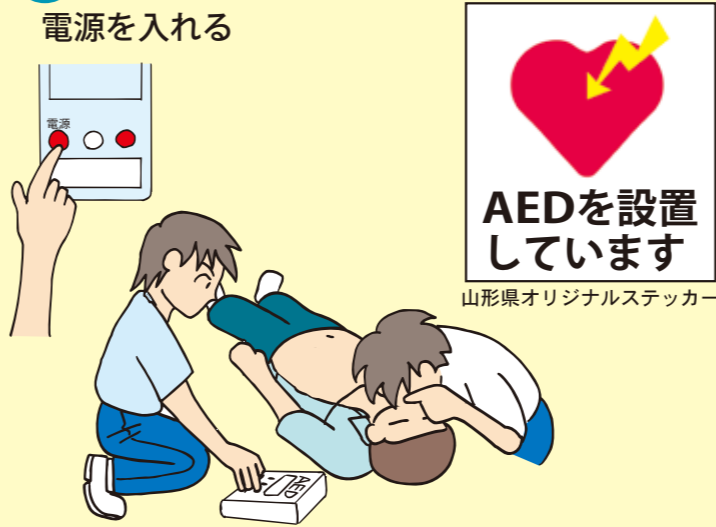
人工呼吸が **できない**
↓
できる

5 呼吸がなかったら人工呼吸を2回



6 心肺蘇生 (胸骨圧迫30回+人工呼吸2回)をくり返す

7 AEDが到着したら



8 電極パッドを患者さんの胸にはる



9 「除細動が必要です」とアナウンスされたら通電ボタンを押す



10 AEDの音声メッセージに従い、心肺蘇生法を再開

以後は、AEDの音声メッセージに従います。心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引継ぐか、何らかの応答や目的のある仕草(例えば、嫌がるなどの体動)が出現したり、普段どおりの息が出現するまで続けます。

突然の心停止に陥った人を救うのは、そばにいる「あなた」しかいません。

- 近くにAEDがある場合、AEDが到着するまでの間は心肺蘇生を繰り返し、AEDが到着したら、AEDを最優先で使用します。

【救命の連鎖】



小児では、けがや溺水、窒息死による不慮の事故を防ぐことが重要です。また成人であれば、心停止の主な原因である急性心筋梗塞や脳卒中等の病気を予防することが大切です。最初の三つの輪は、現場に居合わせた人により行われることが期待され、四つの輪が途切れることなくすばやくつながることで救命効果が高まります。

AEDによる救命処置は、一般市民の方も実施可能です!!

★AED (Automated External Defibrillator) とは
自動体外式除細動器をいい、電源を入れると音声で操作が指示され、救助者がそれに従って、除細動 (=心臓に電気ショックを与えること) を行う装置です。
自動的に心電図を解析し、電気ショックを与える必要があるかどうか判断しますので、一般市民でも簡単な操作で救命処置ができます。